

令和 7 年度定期作況報告

5 月 20 日 現 在

道総研酪農試験場

I. 気 象 概 況

前年 11 月から、本年 5 月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和 6 年

- 11 月：平均気温は上・中旬で平年並、下旬でやや高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で平年並、下旬で極めて多かった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。根雪始は 11 月 30 日で平年より 20 日早かった。
- 12 月：平均気温は上旬で平年並、中旬で低く、下旬で平年並であった。降水量は上旬で少なく、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で平年並、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。

令和 7 年

- 1 月：平均気温は上旬で平年並、中旬で高く、下旬で極めて高かった。降水量は上旬で極めて多く、中旬でやや少なく、下旬でやや多かった。日照時間は・中旬で平年並、下旬で少なかった。
- 2 月：平均気温は上旬で高く、中・下旬でやや高かった。降水量は上旬で極めて多く、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬で極めて少なく、中・下旬で平年並であった。2 月 20 日の土壤凍結深は 31cm で平年より 9cm 深く、最深積雪深は 74cm で平年より 4cm 浅かった。
- 3 月：平均気温は上旬でやや低く、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬でやや多く、中旬で平年並、下旬で少なかった。
- 4 月：平均気温は上旬で平年並、中旬でやや高く、下旬で低かった。降水量は上旬で平年並、中・下旬で極めて多かった。日照時間は上旬でやや少なく、中旬で少なく、下旬でやや少なかった。根雪終は 4 月 7 日で平年より 4 日遅く、積雪期間は 129 日で平年より 24 日長かった。

令和 7 年

- 5 月上旬：最低気温、最高気温ともに平年並で、平均気温は 9.0℃で平年並であった。降水量は 32.0mm で平年並であった。日照時間は 45.6 時間で平年より 15.3 時間少なかった。
- 5 月中旬：最低気温、最高気温ともに高く、平均気温は 12.6℃で平年より 2.3℃高かった。降水量は 27.5mm で平年並であった。日照時間は 70.2 時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温、日照時間および降水量は平年並であった。根雪始が早かったが、積雪深が 20cm 以上に到達した時期は 1 月下旬と遅かったことから、積雪深は平年並で推移した一方で土壤凍結はやや深かった。加えて、根雪終がやや遅かったことから積雪期間が長かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和6年			令和7年				
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日 土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)	根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
本年	10.21	11.30	74	31	48	4.7	4.30	5.9
平年	10.14	12.20	78	22	50	4.3	4.20	5.3
比較	7	△ 20	△ 4	9	△ 2	4	10	6

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和7年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R6	11	上旬	5.3	6.2	△ 0.9	10.8	11.3	△ 0.5	-0.7	0.6	△ 1.3	6.5	39.7	△ 33.2	4.0	2.8	1.2	46.8	43.5	3.3
		中旬	3.6	3.7	△ 0.1	8.9	8.4	0.5	-2.8	-1.7	△ 1.1	11.0	20.0	△ 9.0	3.0	3.5	△ 0.5	34.0	49.1	△ 15.1
		下旬	2.5	0.6	1.9	6.9	5.4	1.5	-2.8	-4.9	2.1	53.5	18.6	34.9	3.0	2.9	0.1	43.8	48.2	△ 4.4
	12	上旬	-2.2	-2.0	△ 0.2	2.5	3.6	△ 1.1	-8.4	-8.0	△ 0.4	4.5	24.9	△ 20.4	3.0	2.0	1.0	48.5	58.2	△ 9.7
		中旬	-6.3	-3.7	△ 2.6	-0.9	1.1	△ 2.0	-12.4	-9.7	△ 2.7	1.0	13.5	△ 12.5	1.0	2.3	△ 1.3	61.7	49.9	11.8
		下旬	-4.6	-5.0	0.4	-0.3	-0.4	0.1	-10.2	-10.8	0.6	10.5	18.5	△ 8.0	2.0	1.9	0.1	48.3	55.3	△ 7.0
R7	1	上旬	-5.8	-6.5	0.7	-0.2	-1.4	1.2	-13.0	-13.0	0.0	36.5	5.9	30.6	3.0	1.8	1.2	47.7	51.1	△ 3.4
		中旬	-3.9	-6.2	2.3	0.2	-1.4	1.6	-10.1	-12.5	2.4	0.0	11.6	△ 11.6	0.0	2.8	△ 2.8	46.3	46.7	△ 0.4
		下旬	-1.6	-6.6	5.0	1.4	-1.9	3.3	-5.2	-13.0	7.8	36.0	19.0	17.0	3.0	3.1	△ 0.1	31.2	52.1	△ 20.9
	2	上旬	-4.0	-7.6	3.6	0.1	-2.5	2.6	-10.3	-14.8	4.5	45.5	7.6	37.9	4.0	1.7	2.3	25.2	58.2	△ 33.0
		中旬	-3.6	-4.7	1.1	0.0	0.2	△ 0.2	-9.8	-11.4	1.6	2.5	12.8	△ 10.3	1.0	1.7	△ 0.7	41.2	47.8	△ 6.6
		下旬	-3.8	-5.4	1.6	1.8	-0.4	2.2	-12.1	-12.6	0.5	0.0	10.2	△ 10.2	0.0	1.8	△ 1.8	58.4	50.4	8.0
	3	上旬	-3.7	-2.5	△ 1.2	1.2	2.2	△ 1.0	-10.0	-9.0	△ 1.0	5.5	37.6	△ 32.1	2.0	3.0	△ 1.0	64.0	53.3	10.7
		中旬	-1.2	-0.3	△ 0.9	3.4	4.0	△ 0.6	-6.8	-5.3	△ 1.5	38.0	15.4	22.6	5.0	2.3	2.7	49.4	57.3	△ 7.9
		下旬	1.3	1.2	0.1	5.8	6.3	△ 0.5	-3.4	-4.3	0.9	25.0	19.4	5.6	4.0	2.2	1.8	43.1	72.5	△ 29.4
	4	上旬	3.5	2.9	0.6	8.7	8.0	0.7	-1.4	-1.9	0.5	24.0	21.0	3.0	5.0	3.2	1.8	45.9	58.6	△ 12.7
		中旬	6.0	4.9	1.1	10.9	10.9	0.0	2.6	-0.4	3.0	104.5	28.8	75.7	8.0	3.0	5.0	33.2	55.6	△ 22.4
		下旬	4.6	6.9	△ 2.3	9.6	13.5	△ 3.9	0.4	1.0	△ 0.6	83.5	22.2	61.3	6.0	3.3	2.7	53.9	64.3	△ 10.4
	5	上旬	9.0	8.8	0.2	14.9	15.6	△ 0.7	3.0	2.4	0.6	32.0	24.2	7.8	5.0	3.9	1.1	45.6	60.9	△ 15.3
		中旬	12.6	10.3	2.3	19.9	17.0	2.9	7.0	4.6	2.4	27.5	17.9	9.6	4.0	2.6	1.4	70.2	63.7	6.5

備考1) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：－

事 由

本年は根雪終が平年より4日遅く、耕鋤始は5月9日で平年より6日遅かった。播種床造成作業は順調に進んだものの、その後の天候不良が続いた影響で播種は5月20日現在行われておらず、5月21日を予定している。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	未達	5.16	－

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最豊年の令和2年および最凶年の令和4年を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧 草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 平年並

事 由

根雪終が平年より遅かったため、萌芽期は平年よりも2年目草地で5日、3年目草地で3日遅かった。冬損状態は平年よりも2年目草地で0.4ポイント、3年目草地で1.2ポイント低く、総じてやや低かった。萌芽後の気温は並から高く推移したため、5月20日現在の草丈は、2年目草地で52cm（平年値は48cm）、3年目草地で50cm（平年値は49cm）であったことから、総じて平年並の生育である。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4/26	4/21	5	1.0	1.4	△ 0.4	52	48	4
「なつちから」3年目	TY単播	4/27	4/24	3	1.0	2.2	△ 1.2	50	49	1

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成30年～令和6年のうち、最凶年と豊凶年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和2年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は令和6年であった。

3) △は減を示す。

(2) 放牧型
メドウフェスク

作況：1 番草 平年並

事 由

根雪終が平年より遅かったため、萌芽期は、平年よりも2年目草地で4日遅く、3年目草地で7日遅かった。冬損状態は、2年目草地で平年よりも1.8ポイント、3年目草地で0.9ポイント低かった。萌芽後の気温は並から高く推移したため、5月20日現在の草丈は、2年目草地で42cm（平年値は36cm）、3年目草地で28cm（平年値は29cm）と総じて平年並であった。

以上のことから、現時点での作況は平年並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9基)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	5/2	4/28	4	1.0	2.8	△ 1.8	42	36	6
「まきばさかえ」3年目	MF単播	5/3	4/26	7	1.5	2.4	△ 0.9	28	29	△ 1

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
2) 平年値：平成30年～令和6年のうち、最凶年と豊凶年を除く5か年平均値。2年目草地の最凶年は令和元年、最豊年は令和6年、3年目草地の最凶年は令和3年、最豊年は平成5年であった。
3) △は減を示す。

令和 7 年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	反 復	施 肥 量 (kg/10a)						栽植様式	
			堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO		
1.サイレージ用										
とうもろこし	11.5	3	4,000	200	10+3	20	10	4	畦間72cm 株間18cm	
「たちびりか」									7,716本/10a	
2.牧 草										
(1)採草型										
TY「なつちから」	造成年	15.6	2	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	15.6	2	－	－	17	8	17	4	播種量
	3年目	11.7	2	－	－	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型										
MF「まきばさかえ」	造成年	15.6	2	4000	300	10	23	14	8	30cm条播
	2年目	15.6	2	－	－	17	8	17	4	播種量
	3年目	11.7	2	－	－	17	8	17	4	3.0kg/10a

1)サイレージ用とうもろこしは、品種比較試験の圃場。

2)牧草は、2、3 年目草地を調査。採草型は年 2 回、放牧型は 5 回（各月 1 日）の刈り取り。

3)TY：チモシー、MF：メドウフェスク。